

マーケットの動き（2022年7月11日～7月15日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

6月の米国CPI（消費者物価指数）が予想を超える伸びとなったことを受け、7月の利上げ幅拡大に対する警戒感が高まりました。米国大手銀行の四半期決算にて貸倒引当金の増額や自社株買いの停止が懸念されたほか、欧州におけるロシアからの天然ガス供給停止、中国で相次ぐ住宅ローン返済拒否なども市場心理を悪化させました。

欧州市場もおおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し（2022年7月）

外国株式相場は、米国、欧州とも方向感に欠ける展開

企業業績については、原材料価格の上昇に加えて米国輸出企業にとってはドル高の影響が下押し要因となる一方、販売価格への転嫁が押し上げ要因となり、個別企業ごとにインフレの影響が異なると予想しています。

米国：景気の先行き不透明感が引き続き上値を抑える一方、すでに株価調整の進んだ銘柄については決算内容次第で底堅い動きになると考えられることから、レンジ内で方向感に欠ける展開を予想しています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）による今後の利上げペースなどを注視しつつ、当面は米国株式相場と同様に方向感に欠ける展開になるとみています。

	7月15日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,863.16	▲0.93%	1.93%	▲17.15%	▲11.40%
NYダウ	31,288.26	▲0.16%	2.02%	▲12.87%	▲10.57%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202207_outlook.pdf

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2021年6月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>